

日中友好新聞

府連通信

2007年6月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/](http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/)

日中戦争七十周年・節目の年に

組織の活性化と700名の会員に

五月十日(日)大阪府連合会
 第五三回大会が、北区ホテル
 グリーンプラザ大阪で五〇名
 が参加して開かれました。

渡辺武大阪府連合会長から開
 会あいさつ、本部佐藤勝事務
 局次長、日本・ユーラシア協
 会大阪支部連合会塚田雅子副
 理事長、日中兵庫県連上田雅
 美事務局長、日本共産党小谷
 みず府議から連帯と激励の
 挨拶を受けました。

第二部の祝賀会では、中国
 領事館の莫麗麗領事から、連
 帯とお祝いの挨拶があり、初
 参加者からのスピーチもあり、
 なごやかな交歓の場となりま
 した。

討論では、今年が、盧溝橋
 事件・南京事件七〇周年の節
 目の年であり、不再戦、平和
 活動の取り組みが重要である
 ことが確認され、八月の「2
 007平和のための戦争展」
 の特別テーマは日中の平和運
 動の原点である「日中十五年

戦争」に決まりました。

特に、四月からの中国語講座
 には290名を超える受講で、
 毎日、熱心に学ばれています。

これは日中の講座が、内容・
 費用・場所等とても良心的に運
 営されている結果だと思えます。

太極拳教室も同様に内容が生
 徒に評価され、継続される方が
 多くなっています。

組織の活性化では、早急に7
 00名の会員を目標に。特に、
 府連の未来をになう青年・女性
 の会員を意識的に、会員に迎え
 ていかなければならないと痛感
 しました。来年は北京オリンピック
 の年、ますます人的・経済的
 交流が盛んになり、会員拡大の
 機会が多くなってくると確信し



二つのきりえ展

2500人が鑑賞

六月の府立現代美術センター
 は二つの「きりえ展」でにぎわ
 いました。

四日〜九日の「第三十回全大阪
 きりえ美術展」は、131人、
 144点で入場者は1500人

田中正三さんが2007
 年五月八日、八十四歳
 で病没されました。日中
 大阪府連第一回・第二回
 訪中団(2003年・2
 005年)に奥さんとと
 もに参加され、お元気そ
 うだったのに、信じられ
 ないと思います。

田中さんは、日中大阪府連の
 役員として長年にわたり活動を
 続けられました。1973〜7
 7年および81〜86年の延べ
 十一年間府連理事長、87〜9
 1年の五年間副会長をつとめら
 れた後第一線を引退された日中
 の大先輩です。その間、特に忘
 れられないのが、1976〜8
 0年、田中さんが編集長となっ
 てまとめられた『私たちと戦争』
 全五巻の出版事業です。日中不



第一回訪中団、天安門前で渡辺
 さんと日中の旗を持って撮影



なつたのは、
 会場が官庁街
 で、大阪城が
 近いというこ
 とがあったの
 かもしれませ
 ん。

を越える盛況で終えました。
 続いて十一日〜十六日の「〇
 七年日本きりえ協会会員展」は、
 会員103人、155点と賛助
 出品32人37点で、1000
 人近くの方が入場されました。
 「きりえ」を初めて見る方や、
 外国人も多く見かける展覧会と

田中正三さんを悼む 渡辺 武

再戦運動の歴史にた。 「六十の手習いや」と照れな
 残る大きな仕事と ながら始められた川柳が、晩年の
 して今も輝いてい 田中さんの最大の生きがいだっ
 ます。 ます。

大阪船場生まれ たらように見うけられます。柳号
 の田中さんは、大 は田中正坊(しょうぼん)。腕
 阪外国語学校(現・ 前向上がすく、ついに「しん
 大阪外大)中国語 ぶん赤旗」の川柳選者九年間は
 部卒業後、毎日新聞社に入 驚異的。川柳句文集『ペンシル』
 社まもなく、一兵士として (1995年)『赤えんぴつ』
 中国戦線へ駆り出され、戦 (2005年)に主な作品を残
 後復員して毎日新聞社に復 されました。前書の中の「万年
 帰されたものの、1950 青(おもと)の実 日中友好二
 年のレッドページで不当解 千年」。田中さんらしい句だと
 雇されました。その後、 思います。

「教育タイムス」という民 辞世は「ありがとう みなあ
 主的な教育新聞の編集発行 りがとう ありがとう」の由。
 に主力を注ぎつつ、日中友 私たちこそ田中正三さん、ほん
 好運動にも協力を続けられ、 とうにありがとうございました。

後には府連理事長を引きう さようなら。

(日中大阪府連会長)

盧溝橋事件70周年
淀屋橋の7/7行動に参加を
 今年は7月6日pm5:00から行います
平和のための戦争展
日中15年戦争をテーマに開催
 8/20~23、10:00~19:00 (23/16時迄)
 日中友好協会内・日中文化センター
連絡先: 大阪府連06-6372-8131

真の友好関係の確立と組織強化を

渡辺武会長開会あいさつ

先日280名が参加して全国大会が開かれたばかり、続いて開く府連大会です。五年間の小泉内閣はやたらに靖国参拝にこだわり、日中政府間の交流が冷たく成りました。

安倍内閣は経済関係が大きく発展する中、財界からの圧力もあり、訪中し、村山・河野談話継承表明で日中関係を

の友好関係の確立などが、長い目で見て重要な課題としてわれわれの前にあります。

改善してきました。しかし慰安婦発言や靖国派で、改憲志向の右派内閣は教育基本法改悪、防衛省昇格、改憲手続法の強行採決など侵略戦争を肯定する行動が目立っています。

日中間は政治的には平和五原則にもとづく関係の発展・両国民の相互の歴史や文化、生活に対する理解と尊敬、真

五七年間の運動をさらに次の段階に進め、歴史の逆流を許さず平和をまもり、日常的に心をかわわせる文化の諸活動をもっと広げるためには、組織強化と財政基盤の確立が必要です。

こころざしは大きく持ち門真支部の再建の経験など、積極的な討議を期待しています。

駐・大阪中国領事館

莫麗麗領事

全国大会に引き続き挨拶をさせていただきます。創立以来日中友好の旗印を高く掲げて、長年と

府連大会・来賓あいさつ紹介

兵庫県連

上田雅美事務局長

重大な欠陥をもつ改憲手続法が民主党の容認のもと強行採決されました。不再戦・平和の活動を行ってきた貴協会の改憲を許さない活動に期待しています。

中国国民も日中間の「あたたかい風」を期待しています。改憲などの逆流の中、不再戦・平和の活動は重要な意義を持つて

をされ、新中国建設にも大きな貢献をされ深く敬意を表します。今年には国交正常化三五周年「中日文化・スポーツ交流年」各分野の交流・友好のムードが広がることを期待しています。

日本共産党府会議員

小谷みずずさん

大正支部の会員で、大阪府議会では日中友好親善議員連盟の副会長をしています。

塚田雅子副理事長

会長メッセージを代読。 稚内で五十周年の記念総会を開きました。平和のために九条をまもる運動と、国際友好運動のためにも奮闘しましょう。

組織強化では十一年ぶりに姫路支部を再建、会員も六百名を超え、大阪のうしろ姿が見えてきました。ともにがんばりましょう。

府連大会へメッセージをいただきました

- 大阪府保険医協会
- 大阪民主医療機関連合会
- 大阪母親大会連絡会
- 大阪商工団体連合会
- 全大阪労働組合総連合
- 大阪自治体労働組合総連合
- 大阪府立高等学校教職員組合
- 治安維持法同盟大阪府本部
- 関西合同法律事務所
- 日本共産党大阪市議会議員団
- 日本共産党堺市議会議員団
- 日中友好協会東京都連合会
- 福岡県連合会
- 京都府連合会
- 和歌山県連合会
- 愛知県連合会
- 宮崎県都城支部

第53回全国大会で表彰・顕彰された方々

20年会員

平松悦雄、村中貴、綾部芙美子、早川佳代子、西永充明、池田哲士、野口道夫、吉永宗市、山口祥夫、山下憲一、川辺正夫、西滝純子、斉藤精二、内藤正博、尾中妙子、吉安範純

30年会員

恒岡正勝、藤田美矢子、藪田 茂、井上孝朗、小牧 薫、村田敏史、中沢理恵子、市川巧二、石津浩、水野平八郎、亀原義明、松尾 豊

再建支部 門真支部

物故者 田中正三、近藤和江、鳥越栄一

2007年役員体制

- | | |
|-----------|-----------|
| 会長 渡辺 武 | 理事 |
| 副会長 藤後博巳 | 浅井和夫、川村博 |
| 理事長 片山英徳 | 北川篤、早乙女実 |
| 副理事長 松尾豊 | 田中寛胤、高橋朗 |
| 副理事長 近藤好幸 | 中村健二、原 繁 |
| 事務局長 高瀬龍二 | 福森雍四、前田尋 |
| 同次長 澤野井公夫 | 山下藤男、菅原正義 |
| | 葭田正明、尾中妙子 |
| | 土井一正、栗山俊子 |
| 常任理事 | |
| 上村康夫、石井勉 | |
| 大上二郎、恒岡正勝 | 顧問 |
| 中根欣之助 | 久場真樹、桑原英武 |
| 松原弥寿夫 | 野口政廣 |
| 田宮勝美 | |
| | 参与 |
| | 梅川勉、岡田和義 |
| 会計監査 | 加藤義明、西村成雄 |
| 小野邦也 | 細見茂、村田はな子 |
| 大島彰吾 | 吉野俊宏 |